



例会日・木曜日 12:30~13:30  
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
会長 井原 俊彦  
幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp  
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity  
「こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ  
「ユーモアでロータリーに  
もっともっと笑顔を」

## 「ロータリー理解推進月間」

2012年 1月 12日 第2034回例会

### ◆ 会長時間 ◆

井原会長



#### ロータリーと寛容

皆さんこんにちは!! 1月はロータリー理解推進月間です。今日は“ロータリーの友”2010年1月号に掲載された2011年1月のポール・ハリスの論文 Rational rotarianism (合理的ロータリアニズム)の一部をまとめてみましたので少し説明させていただきます。

彼はロータリーの発展のために何が最も重要か一言と云われたら“寛容”と叫びたいとまず寛容を強調しています。

ロータリーが長く存続するためにはお互いの欠点を我慢しあう寛容の重要性を既に100年前に予言しているのです。

そして次の様な問題提起をしています。

- ①我々は仕事上の目的でクラブに入るのか?それを不名誉とか非道徳的だと考えるのか?
- ②クラブの目的の一つは仕事から離れての休息と親睦にあるのだから、仕事上の便宜を得る事をロータリーの特色とする事は危険なことなのか?
- ③ビジネスこそが文化の原動力であるのだから、ビジネスが目的で入会する事も咎められるべき

ではないと云えるのか?

④ロータリーとはビジネスと公益活動と親睦とを合理的に混ぜ合わせたものではないのか? これらの100年前の提言は現在の我々の胸にもつきささる様な感じですが。

さて1978年に札幌南RCから発行されたポール・ハリス著“わがロータリーへの道”の抄録増補版を読み直してみますと、ポール・ハリスはプロテスタントだったと思いますが、祖父の寛容の精神を受け継ぎ、他人の宗教観や政治思想をけなさずに受け入れられる人だった事が明らかです。

一般にキリスト教やイスラム教などの一神教は十字軍の遠征や、9.11テロなどにみられるように、非常に攻撃的で報復的と考えられています。一方、クリスマスも先祖のお墓参りも神道も仏教も無神論も何でも受け入れるかの様な日本の多神教の方が、すべてに寛容であるという説があります。しかし日本でも、江戸時代に仏教僧達が幕府と一体となってキリスタン弾圧を行なったし、多神教においてもそれが国家権力と結びついた時には、他宗教に対して排他的で狭量になった歴史が極く最近でもあります。現在でも靖国神社は本来国事の殉難者や戦没者の慰霊の場のはずですが、宗教法人となっているためにキリスト教団体などが閣僚の公式参拝に反対しています。

古代ローマは周辺の民族を征服しても多神教ゆえの寛容さでもって、同化政策を進めて大帝國を築きました。古代ローマは信仰は各人の心の問題だから脇において、他の分野で共に出来る事を共同で行うという考え方だったようです。ビジネスに対する考え方は脇において、親睦と奉仕を進めようというロータリーの考え方に通じる様な気がします。しかし一神教とか多神教とかという構図でとらえるのは我々日本人だけであって、欧米ではキリスト教文明とそれ以外の異教世界ですし、イスラム圏ではイスラム文明とそれ以外の異教の考え方の様です。

要するに一神教・多神教という区別は余り意味がなく、穏健派と急進派（原理主義）の区別の方が、重要であるといえます。

ロータリーもすべからず、穏健で寛容であるべきと改めて感じました。

ありがとうございました。

**ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー  
認証状及び襟ピン、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピンの伝達**

◎ポール・ハリス・フェロー



土井 英幹 会員



梶本 政明 会員



小橋 敏幸 会員

◎マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



第1回 刀禰 明 会員



第1回 園尾 恵三 会員



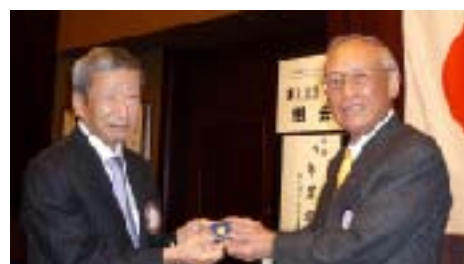
第2回 古屋 憲次 会員



第2回 中村 哲朗 会員



第2回 岡野賢太郎 会員



第3回 小島 謙介 会員

ラジオ寄贈に対する南相馬市長感謝状披露



感謝状



新聞記事

● 会務報告 香川(基)幹事

※例会臨時変更

- 1月16日(月) 広島廿日市RC 夜間例会に変更
- 1月23日(月) 広島中央RC 夜間例会に変更
- 1月25日(水) 広島陵北RC 夜間例会に変更

● 委員会報告

出席報告 尾形委員

本日(1月12日・木曜日)

会員数	82名	出席者	66名
欠席者	16名	ご来客	2名
ご来賓	0名	ゲスト	2名
		計	70名

前々回(12月22日・木曜日)

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会 坂田会員

ロータリーの友誌紹介

※ ロータリー情報委員会 森信委員長

ロータリー情報

※ 国際交流委員会 中岡委員長

バングラディッシュズガミネ校への文房具の提供をよろしくお願いいたします。

※ 古屋次年度幹事

例会後、来年度第1回理事会を開催いたします。

祝 連続出席100% (6名)

坂田君 (28年)	荒谷君 (21年)
井原君 (20年)	加藤君 (5年)
中山君 (1年)	柴田君 (1年)

連続出席20年 井原 俊彦 会員に記念品贈呈(バッチ)

連続出席 5年 加藤 博基 会員に記念品贈呈

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(5名)

安部君	渋谷君	上田君
中岡君	前橋君	

● スマイルボックス SAA 安部委員

☺ 今年も良き年であります様に。

森脇君 (自主申告・大枚)

1月5日ホームテレビ「Jステーション」で当社の初詣が放送されました。初詣の舞台裏と言う事でした。取材は泊まり込みでしたので大変でした。今年が良き年でありますよう祈念して出宝いたします。

☺ 娘を宜しくお願い致します。

木村君 (自主申告・金一封)

会報No. 2055・2056 合併号に、娘(祐子)とのツーショットを掲載して頂きました。バレリーナとして東京で5年、ピラティス教師としてロンドンで5年活動していた娘が、広島を中心に活動する事になりました。今後とも宜しくお願い致します。

☺ 新春から好スコア

長谷川君 (自主申告・ダブル)、梶本君 鈴が峯ゴルフクラブ新春会に於いて3位入賞しました。と言う事で、長谷川君からご出宝頂きました。尚、同大会で梶本君は5位入賞されましたので、ご出宝頂きます。

### ☺ 新聞紙面のご意見番 大本君

昨年12月15日、中国新聞「読者と報道委員会」が開催され、委員の大本君も出席され、その時の顔写真が大きく掲載されていました。大本君は報道について、「切り口を絞る工夫をして欲しい」と、意見を述べておられます。大本君の益々のご活躍をお祈りします。

### ☺ 新技術開発 園尾君

戸田工業は、三井造船と共同でリチウムイオン電池の正極材の製造を始められるそうです。戸田工業では「レアメタルを使わない正極材は今後大きく成長する分野で期待している」と話しておられます。戸田工業の益々のご発展をお祈りします。

### ☺ 年末家族同伴懇親会

昨年12月22日に開催された年末家族同伴懇親会は大変素晴らしい設営で本当に楽しい一時を過ごすことができました。井原会長、香川幹事、羽井担当理事、岡田親睦活動委員長、委員の松岡輝明君、原君、教蓮君、松岡幹太郎君、沖君、豊岡君、中山君、神尾君、佐伯君、大植君、梶君にご出宝頂きました。

続いて、ウエストパープルサウンズの皆様、素敵(?)な演奏を楽しませて頂きました。井原君、佐伯君、梶本君、村上昇君、金本君、浜井君、大本君にご出宝頂きました。さらに、歌手(?)の柴田君、梶本君、諏訪昭登君、梶川君、松岡輝明君、中岡君、斉藤君にご出宝頂きました。尚、栄えある「のど自慢大賞」を受けられた中岡君はダブルでご出宝頂きました。そして、この審査をされた香川基吉君、中村哲朗君、三浦君、古屋君、井原君の各奥様方、審査を有難うございました。さらに、カラオケの部では刀禰君、小橋君の奥様がプロ並みの歌を披露されました。尚、小橋君は奥様の歌の途中で登壇され踊りをされました。小橋君はトリプルでご出宝頂きました。最後に福引ですが、高額景品の当選者をご紹介します。大植君(熊野化粧筆5本セット)、豊岡君(脳ドック受診)、川西君(花野・広島ダイヤモンドホテル飲食券3万円分)には、ご出宝頂きました。続いて紹介する方は、ダブルでご出宝頂いております。木村君

(チタン消臭造花セット)、梶君(ANAクラウンプラザホテル広島のエグゼクティブツイン宿泊券<朝食付き>)、藤原君(リンナイ ガスファンヒーター)。さらに、トリプルでご出宝頂いた方は、笹野君(カシミアジャケットお仕立券)、諏訪昭登君(ウィーン金貨千両箱+ウィーン金貨)です。最後に、会場提供された鮫島君、ありがとうございました。ご出宝頂いております。

まとめますと、フォースは諏訪昭登君。トリプルは井原君、梶君、笹野君。ダブルは香川基吉君、松岡輝明君、豊岡君、佐伯君、大植君、梶本君、中岡君、小橋君、木村君、藤原君。シングルは刀禰君、川西君、鮫島君、羽井君、岡田君、原君、教蓮君、松岡幹太郎君、沖君、中山君、神尾君、村上昇君、金本君、浜井君、大本君、柴田君、梶川君、斉藤君、中村哲郎君、三浦君、古屋君。皆様、有難うございました。

## ■ 卓 話

### 年 男 放 談



#### 年男の卓話

##### 長谷川 行信 会員

一、皆さん明けましてお目度う御座居ます。今年も宜敷くお願いします。今回は3回目の年男と成りますが、前回の年男は株価が29%値上りし絶好調でしたが、昨年末の大納会では、29年ぶりの安値又円は16年ぶりの高値で終わりました。

二、昨年一番の出来事は、なんと云っても東日本大震災による大津波、東電による原発事故でしょう。昨年ようやく、ガレキ処理を鹿島建設他9社に依る2,000億円の受注をし、処理が始まっています。又、昨年末には、17~18兆の予算が決り、222市町村で予算取りが始まっていますが、現在、全国から作業員50万人が必要で、全国500万人の1割は、東北地方で仕事をする事に成り、他地方では、空

洞化がおこる心配が出て来ています。3年間で終わせると年間6兆の工事を消化すると、国の予算1年分6兆前後と同じ予算に成る訳ですから大きな数字に成ります。

又原発事故では、昨年終則宣言を行いました。が、廃炉に30年～40年が必要で、又汚染水や食品等の汚染問題、人体の問題はまだ残っていますので、今後の対応は出来ていないのが現在です。今後が大変な作業に成ると思います。

三、会長職に就いて、昨年読売ジャイアンツの渡辺会長と現場の武末代表の訴訟問題で1億の会長、8,000万の武末氏との戦いはどちらが勝訴するか？

又、横浜ベースターズの身売問題は楽天が反対しましたが渡辺会長の声でままりました。オリンパスの元の会長以下、役員に依る1,300億以上の不正に依る問題、又、大王製紙の井川会長のギャンブル事件等、会長の口出しが老害と云われていますが、歴史を見ますと江戸時代の徳川家 初代将軍 家康が二代将軍秀忠に又三代将軍 家光にそれぞれ口出しをし、十五代将軍 慶喜までつづいたのでしょう。長寿は第十五代将軍が77才、家康が75才で長寿、両将軍が苦勞をしたから長寿だったと思われまます。

四、大きな話に成りますが、国家予算が来年度、 $税金 = 42兆円$ 前後に対し、 $92兆円$ 前後の支出が必要ですので、不足分50%前後が国債の発行で予算を組んでいる中、日本国債の底下が懸念されます。

又、日本の人口が減少しているのが気に成ります。昨年的人口= $1億2,776万人$ ですが、 $1920年(91年前) = 5,600万人$ 、又 $2100年 = 4,770万人$ に減少すると云っていますので、まだ先の事ではあります。民主党が子供手当を出して人口増にして行きたいとの事で、予算化していますが、どう結果が出るのでしょうか？

五、最後に、西ロータリークラブと会員皆さんの発展と御健勝で在ります事をお祈りして、駄弁を終ります。ありがとう御座居ます。



## 古事記編纂千三百年

### 森脇 宗彦 会員

明けましておめでとうございます。

平成24年壬辰の新春を迎え謹んで皇室国家の弥栄と、皆様のご清福を衷心よりお祈り申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」などといひます。

一年の始まりには特別な思いがあります。年があらたまるということはどういうことでしょうか。

一年のすべての災いを祓い清めて、新しい年へのエネルギーをもらうために年神様を正月には招くのです。年神様を迎えるために年末には大掃除をし、門松を立て、注連縄を張り、鏡餅を供えて年神様を饗応するのです。

年が明けて、最初に何をするのでしょうか。意識して行うものは何でしょうか。

江戸末期の歌人橘曙覧(たちばなのあけみ・文化9・1812—慶応4年・1868)は年の始めにこう詠んでいます。ちなみに橘曙覧は、清貧の生活を送った歌人として知られています。

正月つひたちに古事記をとりて

春にあけてまず看(み)る書(ふみ)も

天地(あめつち)の

はじめの時と 読みいづるかな

年の始めに初めて手に取って読む書物が、『古事記』であったことを詠んでいます。日本の国の始まりと、一年の始まりとを重ねているのです。初めがいかに重要かを再確認する態度の表れとみることができます。

『古事記』の冒頭には天地の創生、国の創造、神々の誕生などが記してあります。

俳諧の祖といわれる伊勢の神宮の神主・荒木田守武(文明5年・1473—天文18・1549)は、元旦や神代のことも思はるると詠んでいます。日本の神代という原初の姿に帰るのが、年の始めであったのです。

日本の原初を語る神話は、日本人の“心の源郷”なのです。その「源郷」を記したのが、日本で最古の書物といわれる『古事記』です。

和銅5年(712)に完成したものです。この書物が編纂されてから今年には千三百年になります。

この古事記は日本の創生神話から推古天皇までの事績が書かれています。

古事記は上・中・下の三巻あり、その上巻には日本の国の始まりが、神の物語として生き生きと書かれています。多くの神様が登場します。そして、この神々から初代の天皇の神武天皇にと続き現在の天皇陛下まで続く日本の悠久の「歴史の源」が描かれています。

この古事記は天武天皇の思し召しで編纂されたといわれています。稗田阿礼が記憶している旧辞を、太安万侶が編纂に携わり、聞き取り文字にしたものです。

この『古事記』の編纂について、「古（いにしえ）を稽（かんが）へて、風猷（ふうゆう）をすでに頹（すた）れたる繩（ただ）し、今に照らして、典教を絶えむとするに補わずといふことなし（序）」とあります。そして、神話や歴史は、「邦家の経緯」であり、「王化の鴻基」です。つまり、国家組織の根本であり、天皇政治の基礎であると記しています。歴史、伝承が「正実に違（たが）ひ多く虚偽を加ふ（序）」というありさまを憂い、それをただすために編纂されたのが『古事記』といえます。

まさに『古事記』編纂のときと同じく、今日でも、日本歴史が一部では虚偽があり、事実と異なるものもあるのです。それは、正さなければなりません。

今の日本は混迷を深めています。この難局を打破するリーダーを、今の日本は希求しています。

そのあらわれが「維新」を標榜する政治が躍進していることではないでしょうか。これも時代の流れなのかもしれません。

明治維新、王政復古を眼前にした橘曙覧はこう詠んでいます。

古書のかつつ物をいひ出づる御世を  
つぶやく死眼人（しにまなこびと）  
廃（すた）れつつ古書どもも動きいでて  
御世あらためつ時のゆければ

維新は古典の復活でなくてはならないのです。古事記編纂千三百年という年を、維新につなげたい、世直しにつなげたいものです。

日本再生には、神話をはじめとする歴史伝統の復活が、一番の近道ではないでしょうか。

「古事記の勉強会」を主催しています。みなさんとまずは一緒に、『古事記』を読みましょう。そこから現代社会を見つめなおしてみたいものです。古事記の序文にありますように「稽古照今（古へをかながえて今を照らす）」なのです。

『古事記勉強会』月一回開催です。参加御希望の方は森脇までご連絡くださいませ。

## ■ロータリー情報

### 四つのテスト

職業倫理について世界で最も広く印刷され、引用されている文章の一つに、ロータリーの「四つのテスト」があります。これは、1932年にロータリアンのハーバード J. テイラーが、当時破産の危機に直面していたシカゴのクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けるよう要請された時に創案したものです。経営難のこの会社を救う方法を模索していたテイラーは、従業員全員が仕事において守るべき24単語の倫理規定をつくりました。この「四つのテスト」が販売、生産、宣伝、業者・顧客関係における指針となり、この会社は倒産の難を逃れましたが、それはこのシンプルな哲学に負うものでした。

ハーバード・テイラーは1954-55年度の国際ロータリー会長となりましたが、この四つのテストが1943年にロータリーに採用され、その後、100カ国語以上に翻訳され、何千もの形で発行されてきました。このメッセージはすべてのロータリアンが知り、守るべきものです。

「言行はこれに照らしてから 1) 真実かどうか 2) みんなに公平か 3) 好意と友情を深めるか 4) みんなのためになるかどうか」

クリフォード L. ダクターマン著  
「ロータリーのいろは」より抜粋

### ●卓話予告

日時	テーマ
1/26(木)	新会員卓話 梶 泰起 会員、大植 伸 会員 佐伯 正夫 会員